

隠れ場所

中田千恵子

つばめ来る海辺の町の診療所
薔薇の芽に取り囲まるる夕日かな
永き日の暈に本の伏せ置かれ
虹二重みんな育つて町を出て
螢火やこの一山が螢籠

荒梅雨の夜更けに洗ふ皿小鉢
詩に飽いて緑蔭といふ隠れ場所
色鳥や旅の絵はがき遅れ着き
風の夜の星は花野を巡りけり
姿見の中へ歩みて虫の闇
母に棲む少女の掴む雪螢
合唱の頭上に天使年歩む